



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

第464回 平成9年6月20日(金)

[本日のプログラム]

- | | |
|---------------|--|
| 1. 点 鐘 | |
| 2. ロータリーソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 3. 食 事 | |
| 4. 会長の時間 | |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 各委員会報告 | |
| 7. 会長卓話 伊東忠寛君 | |
| 8. 点 鐘 | |

- | | |
|-----------|--|
| 次回予告 | |
| *6月27日(金) | |
| 全員懇談会 | |
| ※伊東会長年度の | |
| 最終例会です。 | |
| 全会員のご出席 | |
| をお願いします。 | |
| *7月4日(金) | |
| 新年度方針 | |
| 会長・幹事 | |
| 7月セレモニー | |

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	伊東忠寛
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	徳丸彰一
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614- 佐土原町建築業協会内 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170	幹事	赤木達也
		会計	宮原建樹
		会報委員長	垂水敏雄

第463回例会記録

1997. 6. 13

☆会長より 伊東忠寛君

1 会長の時間

今夜が、会長としての最後の夜間例会となりました。

まだ終った…という実感よりも、何をしたのか、どの課題について納得できるものがあるか…など、焦りという気持ちがあるようです。

残された期間、一日一日充実して一つでも満足いく結果を出していきたいと思っています。

(1) 会員増強について

懸案でありました『宮崎県立佐土原高等学校・校長 高妻和彦先生』の入会勧誘につきまして、本日、正岡会員増強委員長と学校訪問を行いました。

佐土原高校も開校10周年に当たるそうで、『新時代を生きる力と個性を育てる…』をモットーに、地域に密着した学び舎を目指しておられるようです。それだけにロータリーについてもご理解があり、前向きにご検討していただけるようです。

その後、ご紹介いただきました宮崎RCの浜田倫紀さんへ報告すると共に再度後押しをお願いしました。

又、宮崎中央RCの河野 順さん（BMW新和自動車）が、佐土原高校のPTA会長ということで、河野さんからも入会奨励をやっていただけそうです。

(2) 鹿児島県北西部地震に対する義捐金について

各クラブに照会したところ、会員一人当たり1,000円以上を募金箱で徴収されているようです。

6月25日まで…となっていますので30,000円ぐらいを目途に集金したいと思います。

(3) 『宮崎ルピナス・パーク』のオープンについて

6月7日（土）児湯郡川南町にオープンした『宮崎ルピナス・パーク』を当日見学してきました。

宮崎の食や農業にまつわる文化を体験しよう…というもので、農業科学公園としての施設等が盛りたくさんあります。

ただ、会員になって3年たらずの浅学非才の私が、よもや会長に…？4月のベツツに参加して周囲の他の会長エレクトと会話を交わすうちに、ロータリーについて無知な自分が不安でたまりませんでした。

しかし、『やれと言われたことを引き受けた以上、泣きごをといってはおれない…やらにゃ！』と自分を叱咤激励して…

- とにかく手元に何もないで、直前会長や先輩会長に何でも聞く。
- 隣接クラブ及び同規模クラブ等の会長と積極的に交流し人間関係を作り、情報を収集する。
- ガバナー事務所との連絡体制を十分とっていく。
- なんでも早く取り組む。
- 佐土原だからできる…佐土原でないとできないことがあるはず。みんなの知恵と力を借りよう。

様々ないろんなことを考え、取り組みました。

先訓に『天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず』とあります、まず、宮崎市の南の端から佐土原というと大変でした。しかし、会員一人一人のご協力があって大過なく今日を迎えることができました。

振り返ってみると、R I テーマ『築け未来を・行動力と先見の目で…』に基づく第2730地区の基本方針にのっとり、佐土原ロータリーとして

第1 会員増強の推進

第2 魅力ある例会の運営

第3 ロータリー財團と米山獎学会への支援

第4 クラブ創立10周年記念行事実行委員会の設置

の四つをクラブ運営方針として取り組んで参りました。

それぞれ各委員会ごとに重点目標を定めていただき、努力していただきました。

① 会員増強については、

- 会員増強情報報告制度の実施
- 会員増強5人1組チームの編成
- 対象者に対する働き掛け

② 魅力ある例会の運営では、

- 出席率を高めるため
 - * 例会会場の変更
 - * 会員連絡体制系統表の作成と出席の呼び掛け
 - * 出席率確保のための『標語ステッカー』の作成配布と『奥様の一声作戦』

- 活動活性化の一つとして
 - * 佐土原町に対し、小藪實英先生の詩『自覚』の立て看板寄贈

③ ロータリー財團等の支援では

- 米山功労者として山脇 忍 君が授賞

又、15日衛星放送番組の『タイガー・ウッズ、スペシャル』で、約2時間の放送のなかでも、『父と子の愛情』『アールの子供教育論』等々、子を持つ親として心を引かれるものがありました。

アールは、タイガーが生まれる前から「この子にゴルフを教えてやろう」と決めつけていたといい、だからといって、それを押し付けたりはしなかったそうです。

アールの著書「トレーニング・ア・タイガー」のなかで『子供が持っている興味を引きだし、育てるには、親子の間に愛情と尊敬に基づく関係が必要である…。』と強調し『子育ては実験と試練の繰り返し…』ともいっているようです。

そしてアールは世の父親たちに『親にとって愛情は与えるもの、尊敬は勝ち取るものだ』といっています。何と言っても『親子の会話』が切ではないでしょうか。

しかし、『言うはやすし、なかなかできていないのが現実…』ここが親子の信頼関係発生を左右するのではないでしょうか。

タイガー・ウッズを子供と一緒に応援して、親子の会話のきっかけにするのも一策か…と結んでありました。

残念ながら全米オープンゴルフの結果は、芳しくなかったようです。

なお、今年の秋に来日しますが、これも残念ながらダンロップフェニックストーナメントではなさそうです。

☆幹事報告

赤木達也君

例会変更通知

*日向東RC 6月24日18:30

はまぐり荘

☆出席報告

委員長代理 田村勝二君

会員数	28名
H C出席者数	22名
欠席者数	6名
出席率	78.6%
マークアップ者数	3名
修正出席率	89.3%
欠席者名	健(健)・脚・山本

☆会員増強委員会より

委員長代理 恒吉正志君

先日、正岡委員長と私で「明和興社長橋口昌幸氏」にお会いして、当クラブへのご入会を勧めましたところ、ご了承いただきました。近く例会にお誘いしたいと考えています。

☆会員卓話

会長 伊東忠寛君

1. 伊東年度の1年（総括）
1996～97年度は、第417回例会（7月5日）から始まり、第465回例会（6月27日）までの1年間49回の例会が私の年度ということあります。

- 例えば
- 農業科学館
 - うまい館 … 特産品
 - フラワー・ハウス … 四季の花・ハーブ
 - ふれあい体験館 … そばうち・アイスクリーム手作り
ハム、ソーセージ等の食品加工
 - 遊園スポーツ施設

農業大学校の敷地内であるだけに、広大な施設であり家族一家団欒の
憩いの場所として最適かと思いました。

(4) 佐土原RC 親睦ゴルフコンペについて

6月12日・フェニックス高原カントリークラブで開催されました。

会員 9名 その他 3名 計12名の3組の参加でしたが、絶好の
コースコンディションと天候に恵まれたなかで、日頃の実力を発揮され
白熱した大会となりました。

結果は

優 勝	池 田 仁 志 君
準優勝	福 井 輝 文 君
第3位	(外 山 亘 君)

でした。林 親睦委員長も年度最後のゴルフ大会となりましたが、いろいろな気配りに心より感謝いたします。

☆幹事報告

赤木 達也 君

例会変更通知

*宮崎北RC 6月25日 18:00 ホテルフェニックス

*宮崎中央RC 6月26日 22時 12:30 宮原町皇子原公園

*宮崎南RC 6月30日 18:30 ホテル・プラザ宮崎

☆出席報告

委員長代理 田 村 勝 二 君

会 員 数	28名
H C 出席者 数	20名
欠 席 者 数	8名
出 席 率	71.4%
マークアップ者数	4名
修 正 出 席 率	85.7%
欠 席 者 名	中嶋・松田・神宮寺・福岡

☆創立10周年記念行事関係について

実行委員長 山脇 忍 君

創立10周年記念行事実行委員会の例会場での開催は5月で終り、6月からは私の医院で毎週水曜日に関係部門の管理者にお集まりいただき、行事計画の原案作成等を進めることにしました。先日の第1回会合ではプログラムを検討し、大筋で成案を見ました。当面、急を要するものは招待者名簿の作成と案内状の発送ですが、事務局に会計の佐野・中武会員と垂水会員を加え、この仕事を先ず完了させたいと思います。各部門ではそれぞれ具体的な実施計画を早急に作成してください。(受付・接待・駐車場・式典・祝賀会・記念事業・記録写真・記念誌 等)
6月18日 19:30 第2回実行委

☆会員卓話

宮原建樹君

佐土原町のごみ処理状況

1. 燃えるごみ〔紙類・生ごみ（残飯）・類・〕は、可燃物用袋に入れたものを回収し、久峰清掃センターで焼却する。
*石灰を混ぜて燃えやすくしている。
- ダイオキシンの発生（-化炭素+塩素：バナム争奪の結果）が問題 厚生省基準は 80ng（1mgの10万分の1） 1pg（1分の1）
2. 燃やせないごみ
①トレー類（牛乳パックも）は回収店舗へ ②空き缶類は、スチール缶が5円/kg、アルミ缶（リサイクル可）が40円/kgで専門回収業者が買取っている。（年間250万円）
③空瓶類は蓋を外して出す。黒色と紫色の瓶だけはリサイクル不可能（カラー舗装に使用） ④ペットボトルは繊維製品や建築資材（外壁・プロ

ック門柱）に使用したりする。リサイクルもできる。

3. 平等寺地区に総工費15億円で新設された不燃物処理場では、粗大ごみの電気製品・自転車・家財道具などの埋立て処理をしていますが、後10年くらいで一杯になるそうです。

産業廃棄物・農業用ビニール・建築資材・タイヤ・廃油については、産業廃棄物処理業者に依頼するか自己処理をしなければなりません。

埋め立てた廃棄物が土中の微生物で分解され土に変わるまで、残飯で20年、繊維・紙類で50年～100年、木材で200年、プラスチック・金属になると何千年もかかると言われます。

今後のエネルギーはやはり化石燃料（石炭・石油・コークス）依存が避けられませんが、30年くらい先までは原子力が主流になるものと思われます。

佐土原ロータリークラブゴルフコンペ

平成9年6月12日 フェニックス 高原カントリークラブ（刈干コース）

氏名	OUT	IN	TOTAL	H CAP	NET	順位	摘要
伊東忠寛	45	43	88	12	76	5位	
徳丸彰一	55	48	103	27.6	75.4	4位	
池田仁志	45	42	87	15.6	71.4	優勝	
加藤仙之	44	44	88	10.8	77.2	8位	N P
藤堂孝一	43	49	92	14.4	77.6	9位	
恒吉正志	61	60	121	36	85	12位	N P
吉田謙一郎	40	39	79	2.4	76.6	7位	BG DC RA
厚雄	48	53	101	21.6	79.4	10位	
吉井輝文	50	49	99	24	75	2位	
吉下広美	52	44	96	14.4	81.6	B B賞	N P
宇治橋正己	47	38	85	8.4	76.6	6位	N P
外山亘	42	56	98	22.8	75.2	3位	D C